



What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

APU グローバルファミリーデーに 大分県ブースを出展しました!



立命館アジア太平洋大学 (APU) のAPU校友会が、2023年12月16日に「グローバルファミリーデー」を開催しました。このイベントは、APU校友会の設立20周年を記念して開催するもので、65の国と地域から約640名の卒業・在校生が集いました。2014年の校友会10周年記念以来の二度目の開催でした。

大分県もブースを出展、大分県への就職・転職やUターンに興味がある方への情報提供を行いました。めじろんも参加し、来場された方々へ大分をアピールしました。

立命館アジア太平洋大学校友会 (APU校友会) とは

2003年に設立、世界中の卒業生や在籍経験者 (交換留学生や退学者も含む)、そして在校生をメンバーとした同窓会です。校友のつながりを維持・構築することを目的としています。国内外には「チャプター」と呼ばれる支部があり、ワークショップやスポーツ大会などの様々なイベントを通じて、卒業生たちが交流を深めています。



県内のニュース

12月に起こった県内の出来事やニュースについてご紹介します。

- ・トリニータ、片野坂氏の監督就任発表 「もう一度J1へ」
- ・モンゴルの訪問団が九重町視察、交流楽しむ 覚書締結から3カ月で実現
- ・白杵の食や文化に触れる体験型観光ツアー 商品化に向け市が実証事業
- ・大分県が「障害者活躍日本一」を目標に 「雇用率日本一」から方針転換
- ・七島イで手作りしたしめ縄飾り、国東高生が市などに贈る
- ・23年の大分県内、特殊詐欺被害2億9千万円超 偽装の手法が巧妙化
- ・大分県、企業誘致へ用地のリストアップ開始 半導体関連狙い、民有地含め適地調査
- ・海外インフルエンサー、六郷満山文化に触れる 豊後高田市の富貴寺では座禅など体験
- ・全国体カテスト、大分県は中2男子が初の1位
- ・湯治効果「見える化」へ別府市などが一斉計測 データ集め誘客新戦略に活用
- ・大分県産乾シイタケの生産量落ち込む 高温影響で過去最少更新の見込み
- ・障害者に水泳を教えて38年、大分市の藤本さんに文部科学大臣表彰

News from Bungotakada

豊後高田市からのお知らせ

豊後高田市
ホームページ



新たな観光交流拠点施設が完成 ～真玉海岸恋叶 ゆうひテラス～

豊後高田市臼野地区の「真玉海岸」は、“日本の夕陽百選”に選ばれた、美しい夕陽がご覧いただける海岸です。干潮と日の入りが重なると干潟に陽光が反射して縞模様が浮かび上がり、幻想的な風景を見ることが出来ます。

そんな真玉海岸に新たな観光交流拠点施設「真玉海岸恋叶ゆうひテラス」が完成しました。「ゆうひテラス」には海を見ながら食事ができるレストランや展望テラスが設置されており、真玉海岸の絶景を心行くまでお楽しみいただけます。



○昭和の町・豊後高田市公式観光サイト(ゆうひテラス)
(<https://www.city.bungotakada.oita.jp/site/showanomachi/15302.html>)



歩いて回れるリアルなテーマパーク ～豊後高田市“昭和の町”～



「昭和の町」は、昭和30年代の賑わいをそのまま現代に復活させながら、地元の人々が普段使いまする商店街としても機能しています。

各店舗では、代々伝わるお宝の展示や一品の販売が行われ、観光客や地元の買い物客で賑わっています。昭和32年式のボンネットバスによる昭和の町商店街や、桂川沿いに行く15分程度のミニ周遊は、大変な人気となっています。週末を中心に運行しており、ガイドさんの楽しい案内も話題となり、多くのリピーターが訪れています。

当時を懐かしむ世代のみならず、その頃を知らない若い世代にも訪れる魅力を持っています。

○昭和の町・豊後高田市公式観光サイト
(6分でご紹介★昭和の町商店街を歩いてみませんか?)
(<https://www.city.bungotakada.oita.jp/site/showanomachi/1426.html>)





ノー・お茶、能・ライフ

戦のあと平和が訪れるように、演武と大分名物を堪能したあと、平和市民公園能楽堂を訪れました。能楽とは、面、装束、舞などを組み合わせたとても畏まった日本の伝統芸能のひとつ。西洋演劇は、自由さ、アドリブなどがとても重要ですが、能の大事なところのひとつは、変わらないことです。能は14世紀からずっと変わらずに続いています。舞台には左足から上がる、「シテ」といわれる主人公は舞台の左側から入り、降りるときは舞台の右側から出るなどなど…ルールがたくさんあります。舞台の形状自体も、どの能楽堂に行ってもさほど変わりません。能楽堂で、役者の楽屋や切り戸口という小さな穴みたいな舞台の出入口など舞台裏の色々なところも見学できました。装束を着て面をつける体験もできました。面をつけると周りが全然見えなくなるので、役者がどうやってちゃんと動きを取っているかよく分かりません。装束も、僕たちは一枚しか身に着けませんでした。本来役者は普通何枚も重ねて着るので、さらに謎が深まります。こういったことから、能にはたくさんの修行が必要ということは明らかです。いつか能を自分の目で見てみたいです。

伝統芸能といえば、茶道もあります。能の舞台裏の見学が終わったあと、茶道の体験もできました。能楽堂のロビーには茶巾、茶筌、茶杓、茶碗など色々な茶道の道具がそろっており、茶巾の折り方、抹茶のすくい方、混ぜ方、そして飲み方を茶道の先生から学びました。お茶の飲み方は習ったことがありますが、茶道を一から行うのはこれが初めてで、とても勉強になりました。

教養を深めたあと、さらに文化を体験するために大分市内をウォーキングしました。大分市内には、生活の中で何回も前を通り過ぎたことがあるのにちゃんと見たことのない芸術作品や面白い建築物があちこちにあります。それらを初めて近くで見ることができ、とても面白かったです。特に気に入ったのは府内町の、見るたびに新しい発見がある「Algorithm」というシュールな壁アートと府内城跡でした。府内城跡は何度も行ったことがありますが、きっととても素敵だっただろうお城の跡を見るのは全然飽きません。駐車場以外の何かに有効活用してほしいなと思います。



大分市観光協会【公式】
Instagram



WHAT'S UP, OITA!



왓츠업, 오이타!

2023年12月 (多言語版 第88号)

～自転車に乗って健康的に楽しむ名勝地の秋～

メイプル耶馬サイクリングロード 中津市

中津といえば耶馬溪、耶馬溪といえば紅葉と連想されるほど、秋の耶馬溪は美しく、その絶景を見ようと多くの観光客が中津を訪れます。国の名勝・日本遺産に指定された景勝地である耶馬溪は車で楽しむ方が多いですが、実はもう一つ耶馬溪を楽しむ方法があります。ずばり、「自転車」です。中津市では、耶馬溪鉄道廃線跡を利用して、初心者やお子さんにも走りやすい自転車道路「メイプル耶馬サイクリングロード」を整備し、運営しています。実は、この内容は過去What's up, OITA!の「市町村からのお知らせ」で紹介されたことがあり、私もサイクリングロードの存在は知っていましたが、自転車に乗れないので利用したいと思ったことはありませんでした。そんなある日、中国出身の国際交流員さんから「普通の自転車だけではなく、タンDEM自転車や電動アシスト自転車なども用意されていることを確認したので、一緒に取材に行きましょう」と誘ってもらい、おかげで紅葉している耶馬溪の取材ができました。普段、全く運動をしない私は基礎体力がゼロに近いですが、今回の取材のために一生懸命にペダルをこいで、色とりどりのメイプルロードの写真を撮ったものを掲載しているので、よろしければこの記事を読んで、サイクリングしてもらえたら嬉しいです。

メイプル耶馬サイクリングロードとは、中津駅を出発し旧守実温泉駅まで9カ所のスポットに寄る、約36km(約3時間40分)の自転車道路です。もちろん、この道路を最初から最後まで走らなければならないというわけではなく、レンタサイクル施設や道の駅などで配布しているサイクリングロードマップの3つのコース(ファミリー・レジャー、ビギナー、マスター)を参考にして自分に合うコースを楽しんでも、自由に好きなルートを走っても大丈夫です。今回私たちは青の洞門の近くにあるサイクリングセンター風水園で自転車を借りて、平田宿場、



【耶馬溪 競秀峰】



【第二山国川鉄橋】



【大屋敷の景の案内板】



【耶馬溪サイクリングターミナル】

WHAT'S UP, OITA!



왓츠업, 오이타!

2023年12月 (多言語版 第88号)

第二山国川橋を通り、耶馬溪サイクリングターミナルで返却するルートで約11kmを走りました。個人的には自分が自転車に乗れないこともあり、今回の取材で普段はできない「サイクリング」という特別な経験ができ嬉しかったです。また、取材日は天気もとても良く、晴天のもとで気持ちよく風にあたりながら、いつでもどこでも自由に自転車を止めて、きれいな紅葉が見られたこともとても魅力的だと思いました。もちろん(タンDEM自転車ではありましたが)このような長距離を自転車で走ったのは人生で初めてだったので、ずっと楽しかっただけでなく、疲れて途中で何回か休んだりもしました。

自転車を返却する前に、サイクリングターミナルから、さほど遠くない場所に位置している溪石園に寄って、庭と調和している紅葉を満喫することでサイクリング旅の幕を閉じました。健康的に秋を楽しむことができ、特別な思い出になったので、皆さんも耶馬溪でサイクリングしてみたいはいかがですか。



レンタルサイクル施設の案内

※レンタル料金は各施設にお問い合わせください。

① 耶馬溪サイクリングターミナル

- ・住所：中津市耶馬溪町大字柿坂353番地
- ・電話番号：0979-54-2700 (日本語)
- ・定休日：水曜日 (※12～2月は火・水曜日)

② やすらぎの郷やまくに

- ・住所：中津市山国町藤野木12-1
- ・電話番号：0979-62-2186 (日本語)
- ・定休日：第1、第3火曜日

③ サイクリングセンター風水園

- ・住所：中津市本耶馬溪町普木1702-1
- ・電話番号：0979-52-2108 (日本語)
- ・定休日：不定休



【メイプル耶馬サイクリングロード】



【溪石園】



国東半島草の根ツアー ～ そば打ち体験と試食～

そばは日本の代表的な食べ物の一つで、日本を訪れた外国人はそばを食べる人が多いでしょう。大分県豊後高田市はそばの産地として知られ、近年はそば文化を積極的に推進しています。そば道場では、そば打ちのプロの指導を受けたり、そば打ちの楽しさを体験したりすることができます。今回の草の根ツアーでは、私は大分県の外国人留学生と一緒にそば道場でそば打ち体験をしました。

広くて明るいそば道場には、そば打ち台が8台あり、一度に最大40名まで体験できます。手を洗い、エプロンを付けた後、4人ずつのグループに分かれてそば打ち台を囲みながら道場の方の説明を聞きました。原材料はそば粉、小麦粉、そして水の3つだけです。工程もそれほど複雑ではなく、水回し、ねり、のばし、切りという手順でした。

まず、準備しておいたそば粉と小麦粉を鉢の中でよく混ぜ合わせ、適量の水を加えて生地を練り上げます。水の量と生地の練り方には注意しなければなりません。道場の方々の丁寧な指導のもと、私たちは粘土遊びの感覚でこねてこねて、饅頭のような形にまとめました。

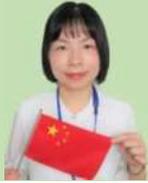
次は打ち台の上で生地をのばします。まずは手できれいな円形を作り、それから麺棒を使って生地を薄くのばしていきます。ここで使った麺棒はとても長いですが、餃子の皮をのばす感覚と同じでした。右の写真を見てください、これが私たちのグループがのばした生地です。見事でしょう。

のばした生地をたたんでから切ります。生地を切るには特別な包丁が使われます。重くて大きい、独特な形をしています。生地を切る時、大切なのは太さを揃えることです。これでそば打ちは完了。後は茹でて食べるだけです。

茹で上がったそばをさっとざるに上げて冷水で冷やすと冷やしそばの完成です。特に暑い夏には、冷やしそばはとても人気があるそうです。自分の手で打ったそばだからか、その場で食べたそばは普段よりもとても美味しく感じました。

そば打ち体験と試食の時間は約1時間半です。道場のスタッフの方々が指導してくれるため、子供や初心者でも気軽にそば打ちを楽しめます。打ったそばは、その場で食べることも持ち帰ることも可能です。





国東半島草の根ツアー ～天球館天文台天体観測体験～

大分県国東市は、豊後の聖人として知られる江戸時代の学者、三浦梅園（1723～1789）の故郷です。この天文台は、天球儀を作っていた梅園にちなんで「梅園の里天文台天球館」と名付けられました。県内最大の65cm反射望遠鏡があり、昼は太陽、夜は星空を観測することができます。山々に囲まれた天文館の周辺は自然が美しく、夏はホタルの観賞地としても有名だそうです。

この日は雲ひとつない快晴で、絶好の観察日和でした。午後1時半ごろ天文台に着き、スタッフの方から説明を受けた後、まず太陽と太陽黒点を観察しました。太陽は肉眼ではまぶしすぎて直接見ることができないため、投影板に映して間接的に観察します。望遠鏡で見た太陽は予想以上に小さく、爪の先ほどの大きさでした。よく見てみると、確かに太陽の中には小さな黒い点がいくつか見えました。太陽を観察した後、スタッフの方が望遠鏡を調整し、昼間の月を観察させてくれました。月は肉眼でも見えますが、肉眼で観察することと天体望遠鏡ではまた違った感覚がありました。

天文台では天文グッズや宇宙食を販売しているほか、毎月定期的には様々なイベントも開催されているので、天体撮影や天体観測などに興味のある方は、ぜひホームページで情報をご確認ください。



そば打ち体験

内容：1鉢あたり2～5名のグループでのそば打ち体験

料金：1鉢あたり4000円（粉量600g）

自分で打ったそばの試食220円（1人あたり）

予約：事前に事務局（TEL：0978-24-3668）へご連絡ください

備考：現在の状況については公式サイト等をご確認いただくか、

事務局へお問い合わせください。

お問い合わせ先：TEL：0978-97-2655

ホームページ：<https://tenkyukan.jimdofree.com/>



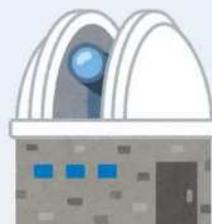
梅園の里天文台天球館

住所：大分県国東市安岐富清2244

営業時間：13:00～22:00（最終入館21:30）

休館日：火曜日（祝日の場合は翌平日）

料金：入館無料。天体観測：大人500円/高校生300円 /小学生200円





ノジの昔話 初めて日本に行ったノジ①



<お知らせ>
今回の特集(昔話)は愛読者のKさんから意見もらって描いています。皆さんも、聞きたいノジの語話がありましたら、ぜひ!! 教えてくださいね!

1

歴史的な名所を訪れたり、市立中学校で交流をしたりするなどとても充実した内容があるにも関わらず、



5

小学校5年生の時にあった日韓ハーフのS君との出会いをきっかけに日本語の勉強を頑張っていた私は、



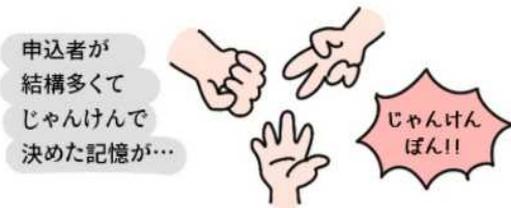
2

中学時代にオタクのオタクだった私はツ○ヤに行きたくて、早く自由時間になることを待ち望んでいた覚えがある(恥)。



6

中学校1年生になり、学校で募集していた日韓生徒交流プログラムに参加することで人生初の海外・日本に行くことになった。



3

しかも、釜山から大阪へ行くクルーズでメガネを風に飛ばされて海に落とすなど色々心配になる初訪日の始まりだった...



7

当時、私は慶州に住んでいたの姉妹都市の「奈良市」を中心として大阪と京都を訪れる5日の旅程だったが、



4



8

2
日本に到着もしていないのにメガネをなくしたノジの初訪日物語、スタート!

from our Reporters 国際交流員だより



◆ みんなが幸せになれるおみくじ

ノ・ジョン
韓国国際交流員 盧知榮

みなさん、あけましておめでとうございます！
私は文化体験として毎年初詣でおみくじを引きますが、幸い今まで「凶」が出たことはありません。「おみくじ」は引くまで結果がわかりませんが、みんな「幸せな年になりますように」と願いながら引くので、おみくじで悪い結果が出て喜ぶ人は誰もいないと思います。

でも、年賀状に貼る「おみくじシール」なら確実にみんなが幸せになれる。その秘密は...おみくじシールは結果が全て「大吉」だからです（笑）。「もう占いではないじゃん」と思うかもしれませんが、きっと年賀状を出した人は受け取る人の幸せの願いながら貼ってくれたはずなので、それだけでとても素敵なことだと思います。もし、受け取った年賀状におみくじシールが貼ってあったら、あなたは幸せ者です！



◆ クリスマスの本当の意味...

アメリカ国際交流員 オースティン・ヴォーン

.....というのはなんでしょう？クリスマスとはどういう日か、映画や歌などで度々テーマになっていますが、「家族と過ごす日」や「見返りを求めず誰かのために何かをする日」などがよくあがります。どういう日は人それぞれだと思いますが、僕も多くの人と同じように、家族や愛する人と過ごす時間が一番大切だと感じています。ただし、国によってクリスマスの過ごし方は異なります。去年はアメリカに帰って、弟がツリーの下のプレゼントを開ける姿を見たり、一緒にハムなどを食べたり家族と過ごすアメリカの伝統的なクリスマスを楽しみました。今年は大分にいたので、友達と一緒にパーティーをしたり、大切な人とケーキを食べたりして、日本式のクリスマスを過ごしました。同時に、当日は家族とテレビ電話でアメリカの伝統的なクリスマスも共有でき、皆と一緒にメリー・クリスマスを楽しみました。



◆ 日中友好の森

ヨウ・コウカ
中国国際交流員 楊江華

大分市の地図を見ていたら偶然、「平和市民公園武漢の森」という場所が目に入りました。「武漢の森」とはどんなところだろうと気になり、休日に行ってみました。「高山流水」の額が付いている中国風の門が見えたので、そこが「武漢の森」だとすぐにわかりました。中に入ると、「知音亭」や「聞琴橋」と名前のついた建物が見えてきました。以前、武漢市で数年間過ごした私にとってはなんとなく懐かしい雰囲気！庭園に目を向けると何か札が付いている木がありました。よく見ると、中国武漢市の代表団が大分市を訪れた時に植えられた記念樹の名札でした。大分市と武漢市は友好都市を締結してから40数年。この庭園の中には記念植樹された木が数えきれないほどあります。「武漢の森」はまさに両市の友情の象徴となっています。



あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動（懇親会等）や留学生OBの近況など、
世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！
（様式は任意です）

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当：生野、中山

【Mail】a10140@pref.oita.lg.jp

募集中!

